

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-79556  
(P2014-79556A)

(43) 公開日 平成26年5月8日(2014.5.8)

(51) Int.Cl.  
A47B 13/08 (2006.01)

F1  
A47B 13/08

テーマコード(参考)  
3B053

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願2013-7803 (P2013-7803)  
(22) 出願日 平成25年1月18日 (2013.1.18)  
(31) 優先権主張番号 特願2012-217366 (P2012-217366)  
(32) 優先日 平成24年9月28日 (2012.9.28)  
(33) 優先権主張国 日本国(JP)

(71) 出願人 000139780  
株式会社イトーキ  
大阪府大阪市城東区今福東1丁目4番12号  
(74) 代理人 100074561  
弁理士 柳野 隆生  
(74) 代理人 100124925  
弁理士 森岡 則夫  
(74) 代理人 100141874  
弁理士 関口 久由  
(72) 発明者 小笠原 貴司  
大阪市城東区今福東1丁目4番12号 株式会社イトーキ内  
Fターム(参考) 3B053 QA00 QA04 QA05 QA06 QB04 QC04

(54) 【発明の名称】 テーブルのエッジ付き天板装置

(57) 【要約】

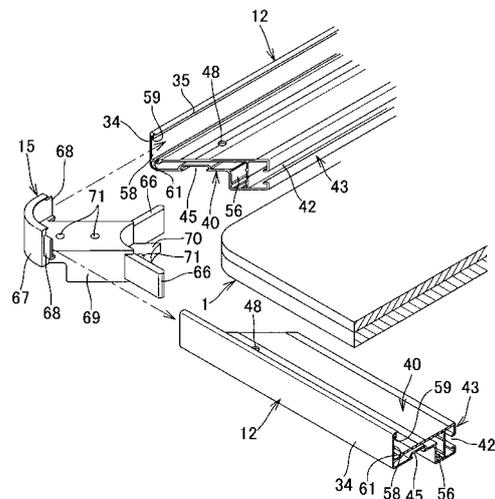
【課題】

天板の側端面を覆うエッジ機能と天板の縁部の補強機能を備えたエッジを天板の周縁部に設けるとともに、コーナー部の施工が容易且つ綺麗であるテーブルのエッジ付き天板装置を提供する。

【解決手段】

脚で支持された単数の天板1又は複数連結した天板の周縁部に、天板の側端面から下面縁部にかけて覆うエッジ機能と天板の下面に取付ける中空の本体部40からなる補強機能とを備えたファンクションエッジ12を設けてなるテーブルにおいて、天板の長辺側に設けたファンクションエッジと天板の短辺側に設けたファンクションエッジとをコーナーブラケット15で外面が連続するように連結してなる。コーナーブラケット15とファンクションエッジ12とは凹凸嵌合構造によって連結するとともに、コーナーブラケットを天板下面にネジ止めしてなる。

【選択図】 図9



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

脚で支持された単数の天板又は複数連結した天板の周縁部に、該天板の側端面から下面縁部にかけて覆うエッジ機能と前記天板の下面に取付ける中空の本体部からなる補強機能とを備えたファンクションエッジを設けてなるテーブルにおいて、前記天板の長辺側に設けたファンクションエッジと前記天板の短辺側に設けたファンクションエッジとをコーナブラケットで外面が連続するように連結してなることを特徴とするテーブルのエッジ付き天板装置。

**【請求項 2】**

前記コーナブラケットとファンクションエッジとは凹凸嵌合構造によって連結するとともに、前記コーナブラケットを天板下面にネジ止めしてなる請求項 1 記載のテーブルのエッジ付き天板装置。

10

**【請求項 3】**

前記ファンクションエッジの本体部の内側に、内方へ向けて開口した開口溝を備えた係止レール部を形成し、前記天板のコーナー部に設ける棒脚を支持する脚ブラケットの外側の両辺縁に天板から所定間隔を隔てた鏝部を形成し、前記ファンクションエッジの係止レール部の開口溝を前記脚ブラケットの鏝部に係合させてなる請求項 1 又は 2 記載のテーブルのエッジ付き天板装置。

**【請求項 4】**

前記脚ブラケットの外側角部に前記コーナブラケットも内側部を嵌合してなる請求項 3 記載のテーブルのエッジ付き天板装置。

20

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、テーブルのエッジ付き天板装置に係わり、更に詳しくはテーブルの天板で機能的なエッジを周囲に有する天板装置に関するものである。

**【背景技術】****【0002】**

従来から、複数の天板を連設し、端部に位置する天板の外側端において棒脚あるいは脚板で支持するとともに、天板の連結部においては中間脚で支持した構造のテーブルは各種提供されている。また、天板の下面周縁部にビーム部材を配置して天板を補強するとともに、コーナー部でビーム部材に連結した脚ブラケットに棒脚を固定する基本構造も公知である。

30

**【0003】**

そして、天板の周囲に補強を兼ねたエッジ部材を設けたテーブルも各種提供されている。例えば、特許文献 1 には、天板の周縁を抱くエッジ部と支持枠を一体に設けた枠構成部材の直線要素を天板の周囲直線部に設け、コーナー部においてはコーナー要素を直線要素に嵌合して連結し、そして直線要素の支持枠端部に脚の上端を連結した構造が開示されている。前記直線要素は、アルミ押出し型材からなり、エッジ部は天板の側端面と上面縁部を覆う形状となっている。前記直線要素には、補強機能を有する支持枠部分を備えているが、それ以外の例えば配線機能やオプションを取付ける機能は備わっていない。

40

**【0004】**

また、特許文献 2 には、上面内周部に沈下段部を有するとともに、沈下段部の下側に内方へ向かって開口する配線用ダクトを有する中空の縁材を天板の直線部分に取付け、コーナー部では脚柱の上端に設けた結合ブロックの側方を向く突栓を縁材の側端開口部に嵌合した構造のテーブルが開示されている。ここで、前記天板の下面縁部を段状に凹部を形成し、該凹部に天板下面に取付けた縁材の突縁部が嵌合する構造であり、配線ダクトによる配線機能は備えているものの、天板の端部を覆うエッジ機能は備えていない。

**【先行技術文献】****【特許文献】**

50

【 0 0 0 5 】

【 特許文献 1 】 特開平 1 0 - 1 1 7 8 5 4 号公報

【 特許文献 2 】 実開平 5 - 3 9 3 3 1 号公報

【 発明の概要 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 0 6 】

そこで、本発明が前述の状況に鑑み、解決しようとするところは、天板の側端面を覆うエッジ機能と天板の縁部の補強機能を備えたエッジを天板の周縁部に設けるとともに、コーナー部の施工が容易且つ綺麗であるテーブルのエッジ付き天板装置を提供する点にある。

10

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 7 】

本発明は、前述の課題解決のために、脚で支持された単数の天板又は複数連結した天板の周縁部に、該天板の側端面から下面縁部にかけて覆うエッジ機能と前記天板の下面に取付ける中空の本体部からなる補強機能とを備えたファンクションエッジを設けてなるテーブルにおいて、前記天板の長辺側に設けたファンクションエッジと前記天板の短辺側に設けたファンクションエッジとをコーナーブラケットで外面が連続するように連結してなることを特徴とするテーブルのエッジ付き天板装置を構成した（請求項 1）。

【 0 0 0 8 】

具体的には、前記コーナーブラケットとファンクションエッジとは凹凸嵌合構造によって連結するとともに、前記コーナーブラケットを天板下面にネジ止めしてなることが好ましい（請求項 2）。

20

【 0 0 0 9 】

また、前記ファンクションエッジの本体部の内側に、内方へ向けて開口した開口溝を備えた係止レール部を形成し、前記天板のコーナー部に設ける棒脚を支持する脚ブラケットの外側の両辺縁に天板から所定間隔を隔てた鏝部を形成し、前記ファンクションエッジの係止レール部の開口溝を前記脚ブラケットの鏝部に係合させてなることがより好ましい（請求項 3）。

【 0 0 1 0 】

また、前記脚ブラケットの外側角部に前記コーナーブラケットも内側部を嵌合してなることも好ましい（請求項 4）。

30

【 発明の効果 】

【 0 0 1 1 】

以上にしてなる請求項 1 に係る発明のテーブルのエッジ付き天板装置は、脚で支持された単数の天板又は複数連結した天板の周縁部に、該天板の側端面から下面縁部にかけて覆うエッジ機能と前記天板の下面に取付ける中空の本体部からなる補強機能とを備えたファンクションエッジを設けてなるテーブルにおいて、前記天板の長辺側に設けたファンクションエッジと前記天板の短辺側に設けたファンクションエッジとをコーナーブラケットで外面が連続するように連結してなるので、天板の周縁部を複数のファンクションエッジとコーナーブラケットで取り囲んでエッジ機能により綺麗に処理することができ、またファンクションエッジには補強機能を備えているので、天板を補強して剛性を高めることができる。

40

【 0 0 1 2 】

請求項 2 によれば、前記コーナーブラケットとファンクションエッジとは凹凸嵌合構造によって連結するとともに、前記コーナーブラケットを天板下面にネジ止めしてなるので、ファンクションエッジとコーナーブラケットを正確に接合することができる。

【 0 0 1 3 】

請求項 3 によれば、前記ファンクションエッジの本体部の内側に、内方へ向けて開口した開口溝を備えた係止レール部を形成し、前記天板のコーナー部に設ける棒脚を支持する脚ブラケットの外側の両辺縁に天板から所定間隔を隔てた鏝部を形成し、前記ファンクシ

50

ョンエッジの係止レール部の開口溝を前記脚ブラケットの鏝部に係合させてなるので、ファンクションエッジを天板下面へ取付ける作業において脚ブラケットの鏝部に係止レール部を係合させて仮保持することができ施工が容易になり、またファンクションエッジの本体部と係止レール部は剛性の高い補強機能となっている。また、ファンクションエッジの本体部は中空部分をコーナブラケットとの凹凸嵌合に利用することができる。

【0014】

請求項4によれば、前記脚ブラケットの外側角部に前記コーナブラケットも内側部を嵌合してなるので、外観性において脚ブラケットとコーナブラケットの一体感が得られる。

【図面の簡単な説明】

10

【0015】

【図1】本発明に係るテーブルの全体斜視図である。

【図2】同じくテーブルの部分底面図である。

【図3】ファンクションエッジの部分斜視図である。

【図4】天板の端縁部にファンクションエッジを設けた状態の部分縦断面図である。

【図5】中間脚と縦ダクトの構造を示す部分分解斜視図である。

【図6】ファンクションエッジの連結部の構造を示す部分分解斜視図である。

【図7】同じくファンクションエッジの連結部の構造を示す部分底面図である。

【図8】天板の連結部の構造を示す一部省略した部分平面図である。

【図9】テーブルのコーナ部の構造を示す分解斜視図である。

20

【図10】脚ブラケットの周りの構造を示す分解斜視図である。

【図11】同じく脚ブラケットの周りの構造を示す分解平面図である。

【図12】コーナブラケットを示し、(a)は平面図、(b)は正面図、(c)は右側面図、(d)は斜視図である。

【図13】他の実施形態のファンクションエッジを天板の端縁部に設けた状態の部分縦断面図である。

【図14】同じく他の実施形態のファンクションエッジとコーナブラケットを天板の周縁部に取付ける構造を示す部分分解斜視図である。

【図15】他の実施形態のコーナブラケットの斜視図である。

【図16】コーナ部に位置するファンクションエッジの端部の拡大斜視図である。

30

【図17】更に他の実施形態のコーナブラケットをファンクションエッジとともに天板の周縁部に取付けた状態の部分底面図である。

【図18】同じく部分拡大底面図である。

【図19】同じく分解平面図である。

【図20】同じくコーナブラケットを示し、(a)は平面図、(b)は側面図である。

【発明を実施するための形態】

【0016】

次に、添付図面に示した実施形態に基づき、本発明を更に詳細に説明する。図1は本発明に係るテーブルの全体斜視図、図2～図11はその詳細を示し、図中符号1は天板、2は棒脚、3は中間脚、4は縦ダクト、5はキャビネットをそれぞれ示している。

40

【0017】

本発明に係るテーブルの全体構成は、図1及び図2に示すように、複数の天板1, ...を連設し、端部に位置する天板1の外側端において棒脚2, 2で支持するとともに、天板1, 1の連結部においては中間脚3で支持し、該中間脚3は縦ダクト4の一部を構成している。前記天板1, ...の下方空間はフットフリー、ワゴンフリーとなっており、棒脚2以外のどの位置でも着座することができ、また引出し付きのキャビネット5を自由に配置することができ、前記縦ダクト4の前面側にも配置できるようになっている。

【0018】

前記棒脚2は、図2及び図10に示すように、脚ブラケット6を介して天板1の下面に取付けられ、両脚ブラケット6, 6間にエンドアーム7を連結している。前記中間脚3は

50

、図2及び図5に示すように、上端に中間アーム8が側面視略T字状に取付けられ、該中間アーム8は天板1、1の連結部に沿って配置されている。そして、隣接する前記中間脚3、3の上端間には、図2及び図5に示すように、ファンクションビーム9、9が間隔を置いて平行に連結され、更に前記エンドアーム7の中間部と中間脚3の上端間にもファンクションビーム9、9が連結されている。そして、図2、図5～図7に示すように、前記中間アーム8の先端には中間ブラケット10、10が固定され、前記各天板1、...を前記中間脚3、脚ブラケット6、エンドアーム7、ファンクションビーム9、中間ブラケット10に載置し、前記脚ブラケット6を天板1下面にネジ止めするとともに、前記エンドアーム7、中間アーム8及び中間ブラケット10に側設された取付片11、...を用いて天板1下面にネジ止めしている。

10

**【0019】**

更に、図1～図4に示すように、前記各天板1の縁部には、側端面から下面縁部を覆うようにファンクションエッジ12が設けられ、直線状に連続する部分においては、図1、図4、図6及び図7に示すように、両ファンクションエッジ12、12を平面視略T字形の連結金具13と断面略L字形の連結板14とで連結するとともに、図1、図9～図11に示すように、前記連結金具13を前記中間ブラケット10に連結する一方、コーナー部においては、交差する両ファンクションエッジ12、12の端部を45度にカットし、その端部をコーナーブラケット15で連結している。そして、前記ファンクションエッジ12を天板1下面にネジ止めするとともに、前記コーナーブラケット15も前記脚ブラケット6と同時に天板1下面にネジ止めする。

20

**【0020】**

次に、各部の詳細を更に説明する。本発明に係るテーブルの四隅に設けた前記棒脚2は、図10に示すように、前記脚ブラケット6を介して天板1の下面にネジ止めされる。前記脚ブラケット6には、平面視略四角形であり、内方へ向いた角部に嵌合部17を突設し、角パイプで作成した前記エンドアーム7の端部を該嵌合部17に外嵌し、ネジ止め連結できるようになっている。また、前記脚ブラケット6には、前記嵌合部17と対角位置にある他の角部に前記コーナーブラケット15を接合できるようになっているとともに、この角部の両側の辺縁に天板1から所定間隔を隔てた鏝部18、18を形成している。前記棒脚2は、前記脚ブラケット6の下面に突設した円柱状の固定筒19に外嵌し、上方から挿通したネジで引き付けて連結している。

30

**【0021】**

また、本発明に係るテーブルの奥行方向の中央部で、前記天板1、1を連結する位置に設けた前記中間脚3は、図5及び図8に示すように、前後両側に支脚20、20を間隔を隔てて配置し、両支脚20、20の上端間に上向き開放した断面コ字形の支持杆21を渡設するとともに、下部間に連結杆22を連結し、更にそれぞれの支脚20の下端には左右方向へ向いた接地杆23を逆T字状に設け、該接地杆23の両端部にはアジャスター24、24を設けた構造である。前記支脚20は、断面コ字形の杆体25、25を左右に配し、前記支持杆21は両杆体25、25の上端に挟むように固定し、両杆体25、25を囲むように側板26が設けられている。

**【0022】**

40

そして、図5に示すような前記中間アーム8の中央部を、前記中間脚3の支持杆21の凹溝内に嵌合し、下方からネジ止めしている。前記中間アーム8は、角パイプで形成され、両端部に前記中間ブラケット10、10を取付け、中間部には前記取付片11、...の他に前記中間脚3の近傍位置に偏平な連結片27、27を設けている。また、前記中間脚3の両支脚20、20の上端左右両側には、前記ファンクションビーム9の端部を外嵌してネジ止め連結するための嵌合部28、28を突設している。

**【0023】**

前記縦ダクト4は、前記中間脚3を用いて構成されている。前記縦ダクト4は、図5に示すように、両支脚20、20の間に、上段コード受け29を前記支持杆21に吊止部材30を用いて吊り下げ状に設けるとともに、下段コード受け31を高さ調節可能に設け、

50

更に前記中間脚 3 の両支脚 20 , 20 と上段コード受け 29 及び下段コード受け 31 を取り囲むように一对のダクトカバー 32 , 32 を対向配置し、該ダクトカバー 32 , 32 の両端縁部を両支脚 20 , 20 の外側側面に係着手段にて着脱可能且つ取付位置を側方へ変更可能に設けて構成されている。尚、前記縦ダクト 4 に対応する天板 1 にはコード引出し口を設けても良い。

#### 【0024】

前記ファンクションエッジ 12 は、図 3 及び図 4 に示すように、前記天板 1 の側端面から下面縁部にかけて覆う形状になっており、複数の機能を備えている。先ず、前記ファンクションエッジ 12 は、前述の文字通り天板 1 のエッジ機能、天板 1 の補強機能、タップを備えた接続ユニット等を取付けるオプション取付機能を備えている。前記ファンクションエッジ 12 は、アルミ押出し型材で作成されており、前記天板 1 の下面に接合する基板 33 の前端から立ち上がり前記天板 1 の側端面を覆う側面板 34 を有し、該側面板 34 の上縁から内方へ前記天板 1 の上面縁部を僅かに覆うことが可能な幅の狭い保護片 35 を延設し、エッジ機能を構成している。そして、前記ファンクションエッジ 12 の基板 33 を前記天板 1 の下面に取付け、前記側面板 34 で天板 1 の側端面を覆い、前記保護片 35 を天板 1 の上面端縁に係合した状態で配置する。このように、前記天板 1 の側端部が完全にファンクションエッジ 12 で覆われるので、該天板 1 の端部は切りっ放しで良く、特別な加工は不要となる。そのため、天板 1 は厚みさえ合わせれば、層構造は任意にでき、図示したように、木製のベース部 1A の上にガラス板 1B を接合した複合板にも対応できる。

10

#### 【0025】

更に、前記ファンクションエッジ 12 は、前記側面板 34 から下方へ延長し、それから後方へ前記基板 33 と平行に延びた下面板 36 を有し、該下面板 36 の後端に下方へ垂下板 37 を形成し、前記基板 33 の後端部から垂下した後面板 38 と前記垂下板 37 の下端を底面板 39 で連結して、中空の断面略 L 字形の本体部 40 を形成し、補強機能を構成している。

20

#### 【0026】

そして、前記ファンクションエッジ 12 は、前記基板 33 の後方延長部と前記底面板 39 の後方延長部の両端部から互いに接近する方向に延びた上下の係止板 41 , 41 と両係止板 41 , 41 の間に開口溝 42 を備えた内部に空間を有する係止レール部 43 を形成し、オプション取付機能を構成している。尚、前記係止板 41 , 41 の端部には、それぞれ外側、つまり天板 1 の端部側へ向けて延びた補強片 44 を形成し、前記係止板 41 とで断面略 L 字状の係止レール部 43 を構成している。勿論、前記係止レール部 43 も補強機能の一部を構成する。更に、前記下面板 36 の前後中間位置に凹溝 45 を形成するとともに、該凹溝 45 の開口縁に対応する前記下面板 36 の部分を延長して突片 46 , 46 を形成し、第二のオプション取付機能を構成している。つまり、本実施形態では、前記ファンクションエッジ 12 は、前記天板 1 の下面に取付ける補強機能を備えた中空の本体部 40 を有するとともに、該本体部 40 の内側に後方へ向いた係止レール部 43 を有し、該係止レール部 43 を用いて他部材を取付けるオプション取付機能を備えているのである。更に、前記ファンクションエッジ 12 の本体部 40 の下面に、開口縁に突片 46 , 46 を有する凹溝 45 を形成して、第二のオプション取付機能としている。

30

40

#### 【0027】

更に詳しくは、前記ファンクションエッジ 12 を前記天板 1 の下面にネジ止めするには、前記凹溝 45 内に開口 47 を形成し、それに対応する基板 33 に取付孔 48 を形成し、前記開口 47 から挿入したネジ 49 を取付孔 48 に挿入して天板 1 の下面に埋設したオニメナット等に螺合する。ここで、前記開口 47 は、ネジ 49 の頭部 49A が通過するのに十分な大きさを有し、前記ネジ 49 を天板 1 の下面へ螺合した状態でも頭部 49A が凹溝 45 内に突出しないように寸法設定され、ネジ 49 の存在を目立たなくしているとともに、前記凹溝 45 を利用する場合に支障がないようにしている。尚、前記凹溝 45 は、本発明に係るテーブルを移動させる際に、指を掛ける場合にも利用できる。

#### 【0028】

50

次に、前記天板 1, 1 の接合部において、隣接する前記ファンクションエッジ 1 2, 1 2 を前記連結金具 1 3 と連結板 1 4 を用いて直線状に連結する構造を図 6 及び図 7 に基づいて説明する。前記連結金具 1 3 は、厚さの厚い金属板からなる縦長断面四角形の芯金 5 0 の中央部に挿入杆 5 1 を平面視略 T 字形に側設し、前記芯金 5 0 の両側部には前後に開口した二つの螺孔 5 2, 5 2 を形成するとともに、前記挿入杆 5 1 にも上下に開口した螺孔 5 3, 5 3 を形成している。前記挿入杆 5 1 は上向きに開口した断面略コ字形の部材であり、内部にナットを溶接し、該ナットに連通する通孔を底面に形成して前記螺孔 5 3, 5 3 とした。また、前記連結板 1 4 は、厚さの薄い金属板を折曲形成した部材であり、幅の広い垂直片 5 4 と幅が狭い水平片 5 5 とからなる。

#### 【0029】

前記ファンクションエッジ 1 2 の本体部 4 0 には、前記垂下板 3 7、後面板 3 8、底面板 3 9 及び基板 3 3 で囲まれた縦長の嵌合空間 5 6 が形成され、該嵌合空間 5 6 に前記連結金具 1 3 の芯金 5 0 の半分が嵌合される。この際、前記挿入杆 5 1 は、前記後面板 3 8 と、上側の係止板 4 1 及び補強片 4 4 の一部に形成した切欠部 5 7 を通して内側、つまり天板 1 の中央側へ向けて開口溝 4 2 から突出する。また、前記ファンクションエッジ 1 2 の側面板 3 4 と基板 3 3 の内側に沿って形成した嵌合部 5 8 に前記連結板 1 4 が嵌入される。前記ファンクションエッジ 1 2 の側面板 3 4 の近傍に嵌合部 5 8 を設け、直線状に隣接する両ファンクションエッジ 1 2, 1 2 の嵌合部 5 8 に連結板 1 4 の両端部を嵌入することで、位置ずれを端縁に近いところで防止でき、より正確に連結できる。前記嵌合部 5 8 は、前記側面板 3 4 の内側上端に形成した下向き係合溝 5 9 と、前記基板 3 3 の手前側の外側縁部に設けた段落ち部 6 0 に形成した外向き係合溝 6 1 とで構成している。図 4 に示すように、前記ファンクションエッジ 1 2 を前記天板 1 に取付けた際に、前記天板 1 の側端面と側面板 3 4 及び基板 3 3 の段落ち部 6 0 との間に断面略 L 字形の空間が形成され、この空間内に前記連結板 1 4 を挿入して、垂直片 5 4 の上縁を前記下向き係合溝 5 9 に係合するとともに、水平片 5 5 の端部を前記外向き係合溝 6 1 に係合する。そして、前記ファンクションエッジ 1 2 の開口溝 4 2 内で、前記後面板 3 8 に形成した通孔 6 2, 6 2 から挿入したネジ 6 3, 6 3 を前記芯金 5 0 の螺孔 5 2, 5 2 に螺合して強固に両ファンクションエッジ 1 2, 1 2 を連結するとともに、前記連結板 1 4 を前記嵌合部 5 8 に嵌合することにより、側面板 3 4 と保護片 3 5 に位置ずれが無く連結することができる。そして、前記連結金具 1 3 の挿入杆 5 1 は、前記中間ブラケット 1 0 の先端面に開口した支持孔 6 4 に嵌入し、該中間ブラケット 1 0 の下方から挿入したネジ 6 5, 6 5 を前記螺孔 5 3, 5 3 に螺合して連結する。

#### 【0030】

また、テーブルのコーナー部においては、図 9 ~ 図 1 1 に示すように、前記コーナーブラケット 1 5 の基部には、前記ファンクションエッジ 1 2 の嵌合空間 5 6 に嵌入する嵌合片 6 6, 6 6 を両側に突設するとともに、コーナー部の R 面を形成するコーナー端面板 6 7 に前記嵌合部 5 8 に係合する断面略 L 字形の係合片 6 8, 6 8 を両側に突設している。前記ファンクションエッジ 1 2 を天板 1 のコーナー部に取付けるには、前記係止レール部 4 3 の端部の開口溝 4 2 を前記脚ブラケット 6 の鏝部 1 8 に係合させて仮支持しながら、他端側を前記連結金具 1 3 と連結板 1 4 を用いて他のファンクションエッジ 1 2 に連結し、そして側端に位置するファンクションエッジ 1 2 の両端部に前記コーナーブラケット 1 5, 1 5 を前述のように嵌合した状態で、該ファンクションエッジ 1 2 の開口溝 4 2 を両側の脚ブラケット 6, 6 の鏝部 1 8, 1 8 に係合すると同時に、両コーナーブラケット 1 5, 1 5 の嵌合片 6 6 と係合片 6 8 を前後縁に設けた前記ファンクションエッジ 1 2, 1 2 の端部に嵌合し、それから前述のように、ネジ 4 9, ... で天板 1 の下面に螺合する。

#### 【0031】

本実施形態の前記コーナーブラケット 1 5 を図 9 ~ 図 1 2 に基づいて更に詳しく説明する。前記コーナーブラケット 1 5 は、天板 1 のコーナー部において直交する両ファンクションエッジ 1 2, 1 2 の端部間を埋める形状のブロック体 6 9 の外側部に前記コーナー端面板 6 7 を前記ファンクションエッジ 1 2 の側面板 3 4 と外面が連続するように形成する

10

20

30

40

50

とともに、内側部は前記脚ブラケット 6 の外側部に嵌合し、外形において連続するようになっている。つまり、前記コーナブラケット 15 のブロック体 69 の内側部で下端に係合板 70 を内側へ向けて突設し、該係合板 70 を前記脚ブラケット 6 の外側角部で固定筒 19 の外側下面に接合するようになっている。そして、前記ブロック体 69 と係合板 70 には上下に貫通した取付孔 71, 71 を形成し、図示しないネジを該取付孔 71, 71 に下方から挿通して前記天板 1 の下面にネジ止めする。ここで、前記係合板 70 は前記脚ブラケット 6 と外側角部と一緒にネジ止めする。本実施形態の前記コーナブラケット 15 は、前記ブロック体 69 は前記ファンクションエッジ 12 の端部を 45 度にカットしているから両縁は平行な形状であり、該ブロック体 69 の基部から前記嵌合片 66, 66 が直交方向に一体的に突設するとともに、前記コーナ端面板 67 の両端から前記係合片 68, 68 が一体的に突設されている。

10

#### 【0032】

図 13 には前記ファンクションエッジ 12 を他の実施形態を示している。本実施形態のファンクションエッジ 12 は、前記天板 1 上にこぼした水等の液体が前記保護片 35 と天板 1 の隙間から浸入し、基板 33 の上に溜まることを防止できる構造とした。この場合、前記天板 1 の下面縁部を斜めにカットして面取り部 72 を形成している。そして、前記ファンクションエッジ 12 は、前記基板 33 の手前側部分を前記面取り部 72 に対応した傾斜板 73 とし、該傾斜板 73 の中間部に全長にわたり排水溝 74 を形成し、該排水溝 74 と下面板 36 との適所に排水孔 75, 75 を形成している。その他の構造で前述のものと異なるところは、前記下面板 36 の手前端部分を下方へ膨出させ（膨出部 36A）、その後方に前記垂下板 37 に至るまでを凹溝 45 とし、前記本体部 40 の中空部の手前端（外側縁部）に上下に対向させて係合溝 59, 61 を形成し、嵌合部 58 としたところにある。尚、前記凹溝 45 の開口縁には突片 46 を設けない。この場合、前記下面板 36 の手前側膨出部 36A は前記凹溝 45 に指を掛けるのに適したものとなり、また内部は樋状になるので排水溝としての機能を有し、こぼれた液体は最終的にこの膨出部 36A に形成された排水孔 75 から外部に排水される。また、前記ファンクションエッジ 12, 12 同士を連結する場合、係止レール部 43 に沿って形成された嵌合空間 56 には前記同様な連結金具 13 の芯金 50 を挿入するが、前記本体部 40 の内部に設けた前記嵌合部 58 には単純な厚板状の連結板 14 を上下の係合溝 59, 61 に係合させて挿入する。その他の構造は前記同様であるので、同一符号を付してその説明は省略する。

20

30

#### 【0033】

次に、図 14 ~ 図 16 に基づいて、他の実施形態のファンクションエッジ 12 とコーナブラケット 15 とを用いて天板 1 のコーナ部を処理する構造を説明する。本実施形態のコーナブラケット 15 は、平面視略 L 字形のブロック体 76 の外側面に前記ファンクションエッジ 12 の側面板 34 と外面が連続するようにコーナ端面板 77 を形成するとともに、内側部に前記棒脚 2 の受け入れる平面視略 U 字形の嵌合凹部 78 を形成し、該ブロック体 76 の両端に直交する方向に嵌合板 79, 79 を突設している。尚、前記ブロック体 76 の両端面は直交している。ここで、前記両嵌合板 79, 79 の外側端部、即ち前記コーナ端面板 77 に連続する部分を互いに平行になるようにカットして挿入縁 80 を形成している。また、前記コーナブラケット 15 のブロック体 76 の中央部には上下に貫通した取付孔 81 を形成している。

40

#### 【0034】

一方、前記ファンクションエッジ 12 は、断面形状が図 13 に示されたものであるが、端部を直角にカットするとともに、内側の係止レール部 43 から本体部 40 にかけて前記棒脚 2 を逃がすための円弧状切欠部 82 を形成している。また、本実施形態の脚ブラケット 6 は、外側角部が前記棒脚 2 の外形に一致し、その部分から前記鏝部 18, 18 が両辺縁に沿って延びている。

#### 【0035】

そして、前記ファンクションエッジ 12, 12 とコーナブラケット 15 を天板 1 の周縁部に取付けるには、先ずコーナ部を挟んだ天板 1 の両辺縁（長辺側と短辺側）に前記

50

ファンクションエッジ 12, 12 を配置し、前記係止レール部 43 の開口溝 42 を前記脚ブラケット 6 の鍔部 18 に係合させるとともに、円弧状切欠部 82 を前記棒脚 2 に外接して天板 1 の下面にネジ止めする。それから、前記コーナーブラケット 15 を両ファンクションエッジ 12, 12 の端部間に、135 度方向から挿入すると、両端の嵌合板 79, 79 は、各ファンクションエッジ 12 の基板 33 と凹溝 45 を形成した部分の空間部 83 に嵌入する。この際、前記嵌合板 79 に挿入縁 80 を設けているので、前記ファンクションエッジ 12 のコーナー端面 77 に干渉することがなく嵌合板 79 を空間部 83 に嵌入することができる。そして、前記コーナーブラケット 15 の平面視略 U 字形の嵌合凹部 78 が、前記棒脚 2 に外接するとともに、前記コーナー端面 77 が前記ファンクションエッジ 12 の側面板 34 に面一に接合する。最後に、前記コーナーブラケット 15 を取付孔 81 に下方から挿通したネジで天板 1 の下面にネジ止めする。

10

**【0036】**

逆に、前記コーナーブラケット 15 を天板 1 のコーナー部に取付けた後、天板 1 の長辺縁と短辺縁にそれぞれ前記ファンクションエッジ 12, 12 と順次取付けることも可能である。この場合、前記ファンクションエッジ 12 の内側部に円弧状切欠部 82 を形成したことにより、前記係止レール部 43 の底面に相当する后面板 38 が切り欠かれているので、前記嵌合板 79 を空間部 83 に受け入れることができる。

**【0037】**

また、図 14 に示すように、前記棒脚 2 の下端には、アジャスター 84 を目立たないように設けている。具体的には、前記アジャスター 84 は、脚パイプ 85 の内部で下端よりやや上方位置に受板 86 を固定し、該受板 86 にアジャスター 84 の螺軸を螺合している。つまり、通常の使用状態で、前記アジャスター 84 を床面に接地すると、前記脚パイプ 85 の下端が床面から僅かに浮いた状態になり、内部に位置するアジャスター 84 が隠蔽されるのである。

20

**【0038】**

図 17 ~ 図 20 に示したものは、コーナーブラケット 15 の更に他の実施形態である。本実施形態のコーナーブラケット 15 は、平面視略 L 字形のブロック体 87 の外側面に前記ファンクションエッジ 12 の側面板 34 と外面が連続するようにコーナー端面 88 を形成するとともに、内側部に前記棒脚 2 及び脚ブラケット 6 を受け入れることができるようになっており、両端部は前述の実施形態のものとは異なり直線状である。本実施形態も前記ブロック体 87 の両端面は直交し、そして該ブロック体 87 の両端に直交する方向に嵌合板 89, 89 を突設している。また、前記コーナーブラケット 15 のブロック体 87 の上面は外周部から内周部にかけて下った傾斜面 90 となっており、前記天板 1 の縁部から浸入した水等の液体を傾斜面 90 の低位側に導き、内周縁から棒脚 2 に沿って下方へ排水できるようになっている。前記コーナーブラケット 15 の傾斜面 90 には、前記天板 1 の下面へネジ止めするための取付孔 91, ... を中央部と両端部に上下貫通させて形成するとともに、該取付孔 91 の周囲部をその他の部位よりも高位に設定すべく、前記傾斜面 90 から突出した取付台 92 を形成している。

30

**【0039】**

本実施形態のファンクションエッジ 12 は、図 13 に示した実施形態と同じであるが、端部は単純に直角にカットしたままのものである。前記ファンクションエッジ 12 の端部の横幅は、前記コーナーブラケット 15 の端部の横幅よりも広く、前記係止レール部 43 の端部が露出するので、この係止レール部 43 の溝を利用して円弧状の補填材 93, 93 を嵌合し、前記コーナーブラケット 15 の内周部と前記棒脚 2 の脚パイプ 85 を受け入れる平面視略 U 字形の嵌合凹部を構成している。ここで、前記補填材 93 は、前記係止レール部 43 に嵌合する挿入部 94 は、一部が前記コーナーブラケット 15 の端面に重なるような形状とし、先ずファンクションエッジ 12 の端部に補填材 93 を嵌合し、次いでコーナーブラケット 15 を嵌合することにより、当該補填材 93 が脱落しないようにしている。また、前記棒脚 2 の脚パイプ 85 と補填材 93 との間の隙間を 8 mm 以内にする事により、該隙間に指が嵌らないように設定している。その他の構成は、前記同様であるの

40

50

で、同一構成には同一符号を付して、その説明は省略する。

【 0 0 4 0 】

本実施形態のコーナーブラケット 1 5 と前記ファンクションエッジ 1 2 を、天板 1 の周囲に取付けるには、図 1 9 に示すように、先ず天板 1 の長辺側の縁部に前述のように、端部に前記補填材 9 3 を嵌合したファンクションエッジ 1 2 を取付ける。それから、前記天板 1 の短辺側の縁部に取付けるファンクションエッジ 1 2 の両端に前記コーナーブラケット 1 5 の一端と補填材 9 3 を嵌合した後、該コーナーブラケット 1 5 の他端を長辺側の縁部に予め取付けたファンクションエッジ 1 2 の端部に嵌合し、それから取付孔 4 8 , 9 1 , ... を利用して天板 1 の下面にネジ止めして取付ける。

【 符号の説明 】

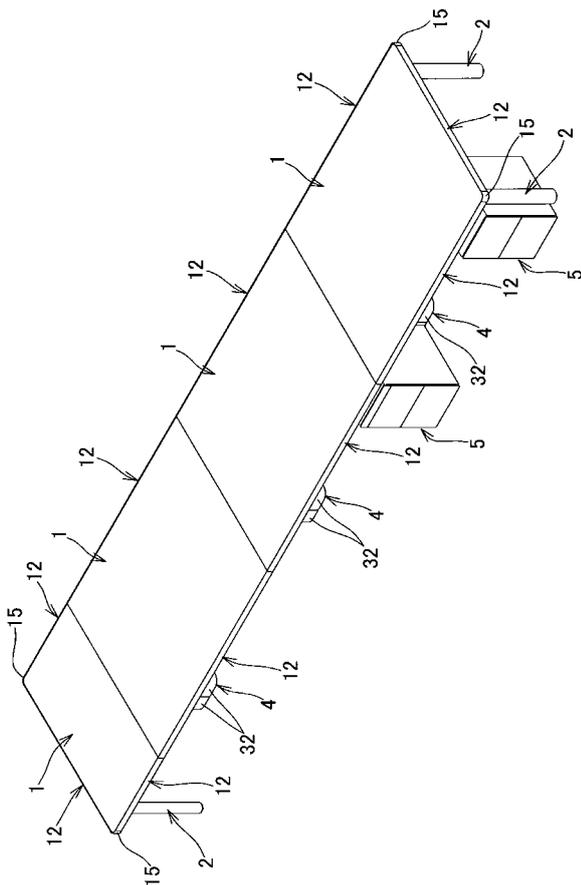
10

【 0 0 4 1 】

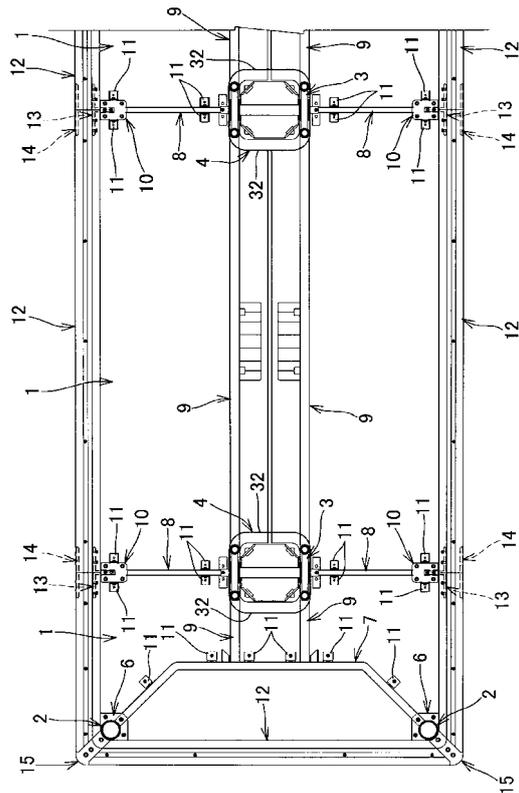
|                |                 |    |
|----------------|-----------------|----|
| 1 天板、          | 1 A ベース部、       |    |
| 1 B ガラス板、      | 2 棒脚、           |    |
| 3 中間脚、         | 4 縦ダクト、         |    |
| 5 キャビネット、      | 6 脚ブラケット、       |    |
| 7 エンドアーム、      | 8 中間アーム、        |    |
| 9 ファンクションビーム、  | 1 0 中間ブラケット、    |    |
| 1 1 取付片、       | 1 2 ファンクションエッジ、 |    |
| 1 3 連結金具、      | 1 4 連結板、        |    |
| 1 5 コーナーブラケット、 |                 | 20 |
| 1 7 嵌合部、       | 1 8 鐳部、         |    |
| 1 9 固定筒、       | 2 0 支脚、         |    |
| 2 1 支持杆、       | 2 2 連結杆、        |    |
| 2 3 接地杆、       | 2 4 アジャスター、     |    |
| 2 5 杆体、        | 2 6 側板、         |    |
| 2 7 連結片、       | 2 8 嵌合部、        |    |
| 2 9 上段コード受け、   | 3 0 吊止部材、       |    |
| 3 1 下段コード受け、   | 3 2 ダクトカバー、     |    |
| 3 3 基板、        | 3 4 側面板、        |    |
| 3 5 保護片、       | 3 6 下面板、        | 30 |
| 3 7 垂下板、       | 3 8 後面板、        |    |
| 3 9 底面板、       | 4 0 本体部、        |    |
| 4 1 係止板、       | 4 2 開口溝、        |    |
| 4 3 係止レール部、    | 4 4 補強片、        |    |
| 4 5 凹溝、        | 4 6 突片、         |    |
| 4 7 開口、        | 4 8 取付孔、        |    |
| 4 9 ネジ、        | 4 9 A 頭部、       |    |
| 5 0 芯金、        | 5 1 挿入杆、        |    |
| 5 2 螺孔、        | 5 3 螺孔、         |    |
| 5 4 垂直片、       | 5 5 水平片、        | 40 |
| 5 6 嵌合空間、      | 5 7 切欠部、        |    |
| 5 8 嵌合部、       | 5 9 係合溝、        |    |
| 6 0 段落ち部、      | 6 1 係合溝、        |    |
| 6 2 通孔、        | 6 3 ネジ、         |    |
| 6 4 支持孔、       | 6 5 ネジ、         |    |
| 6 6 嵌合片、       | 6 7 コーナー端面板、    |    |
| 6 8 係合片、       | 6 9 ブロック体、      |    |
| 7 0 係合板、       | 7 1 取付孔、        |    |
| 7 2 面取り部、      | 7 3 傾斜板、        |    |
| 7 4 排水溝、       | 7 5 排水孔、        | 50 |

- 76 ブロック体、
- 78 嵌合凹部、
- 80 挿入縁、
- 82 円弧状切欠部、
- 84 アジャスター、
- 86 受板、
- 88 コーナー端面板、
- 90 傾斜面、
- 92 取付台、
- 93 補填材、
- 77 コーナー端面板、
- 79 嵌合板、
- 81 取付孔、
- 83 空間部、
- 85 脚パイプ、
- 87 ブロック体、
- 89 嵌合板、
- 91 取付孔、
- 93 補填材、
- 94 挿入部。

【 図 1 】

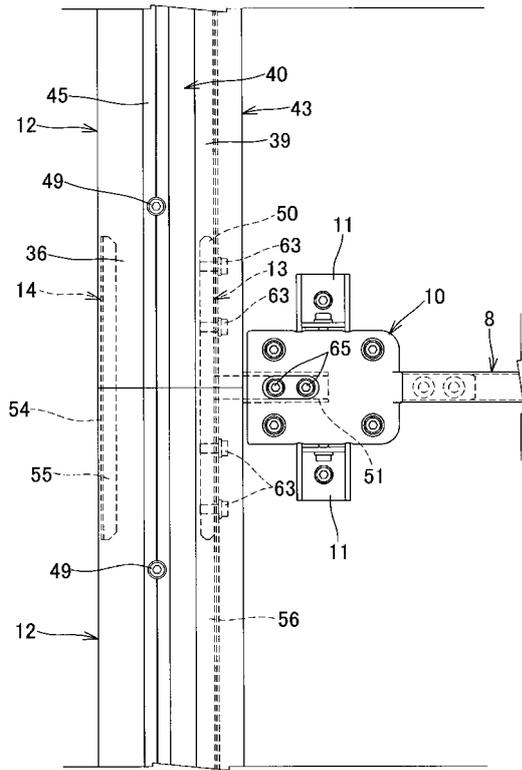


【 図 2 】

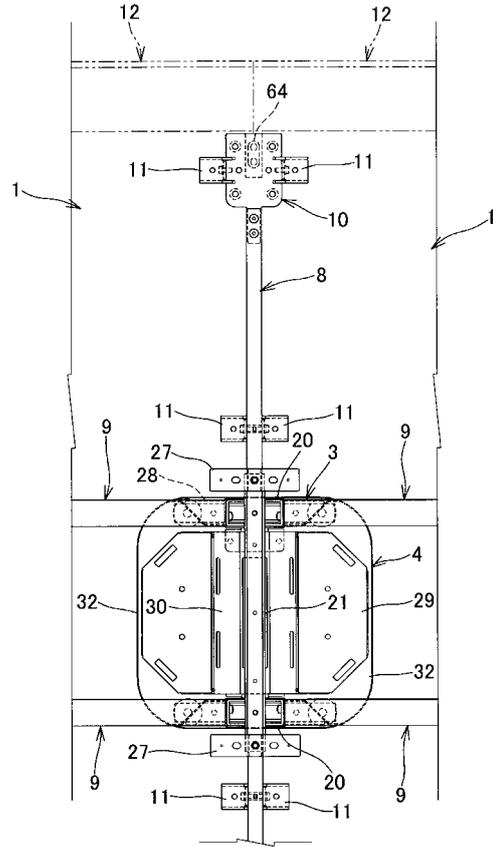




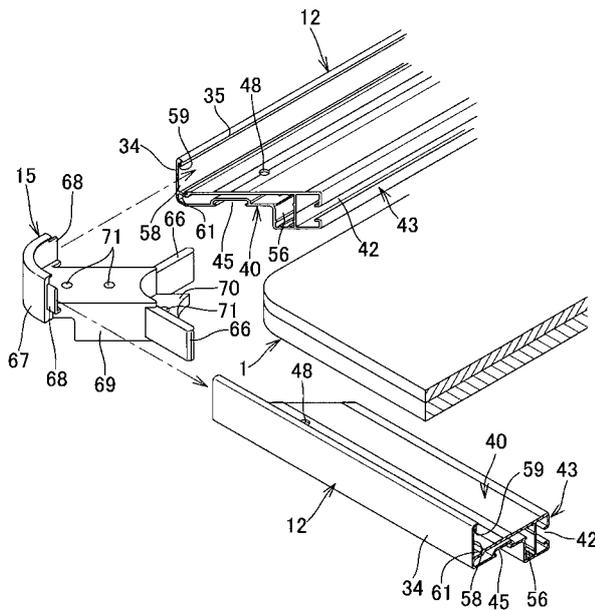
【 図 7 】



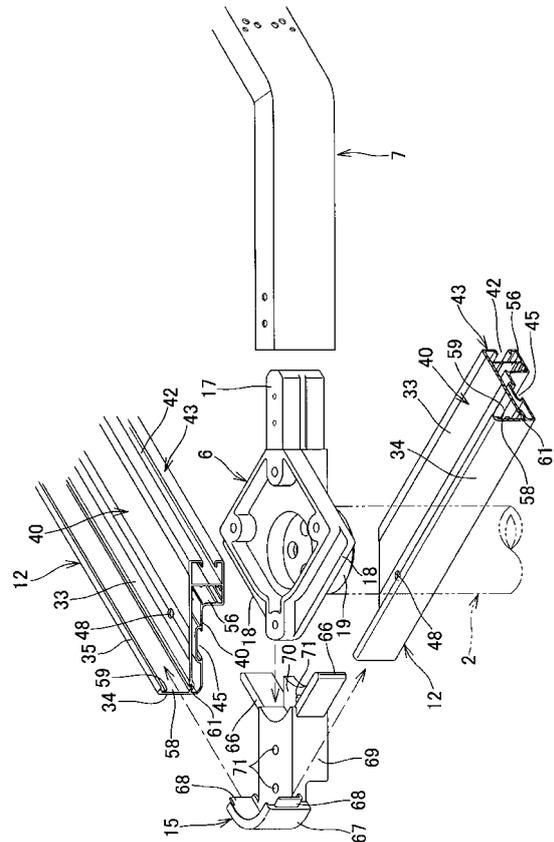
【 図 8 】



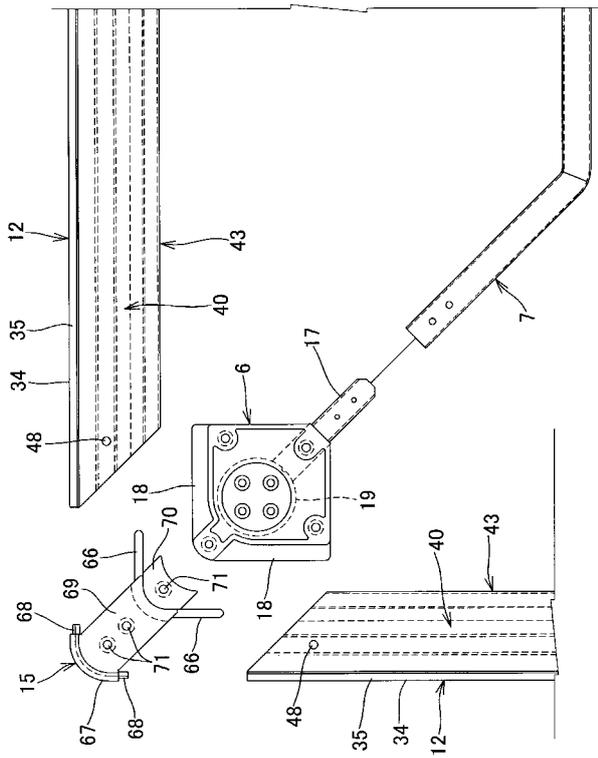
【 図 9 】



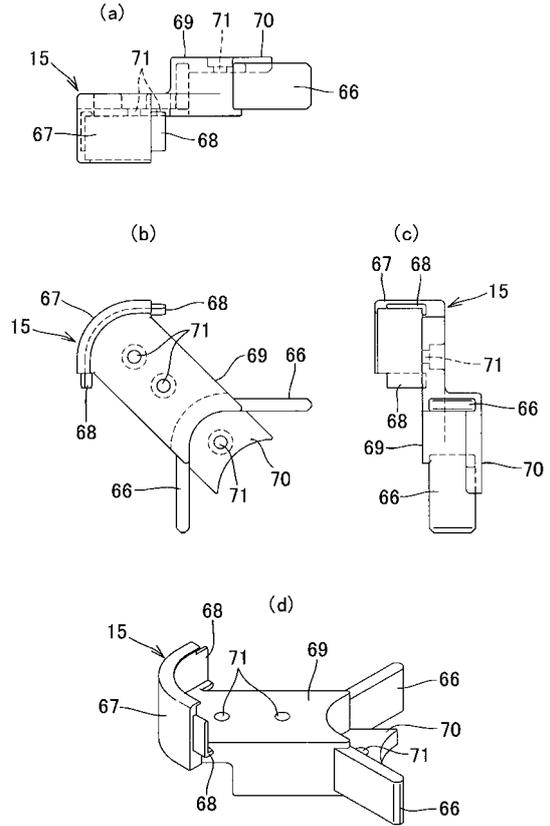
【 図 10 】



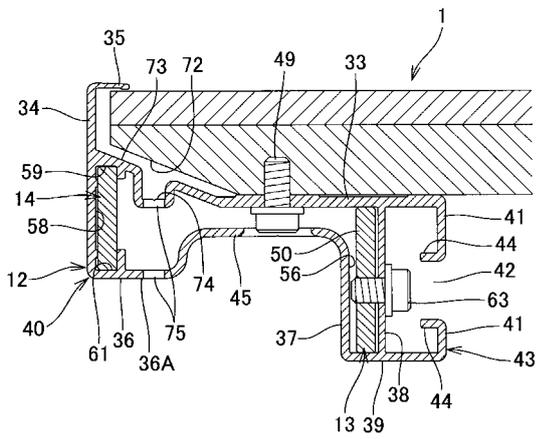
【図 1 1】



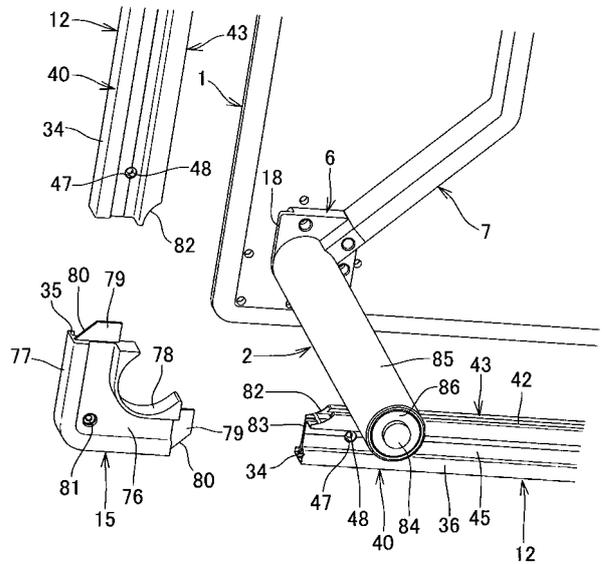
【図 1 2】



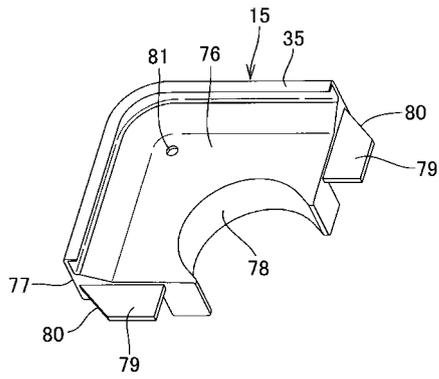
【図 1 3】



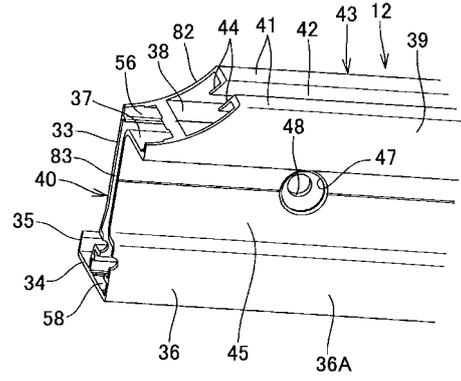
【図 1 4】



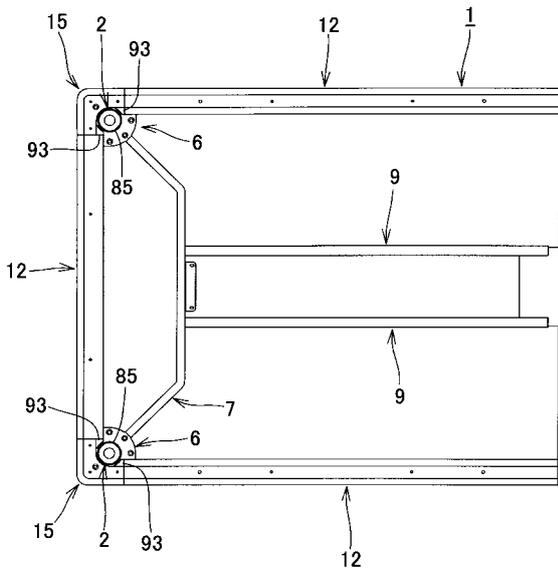
【 図 1 5 】



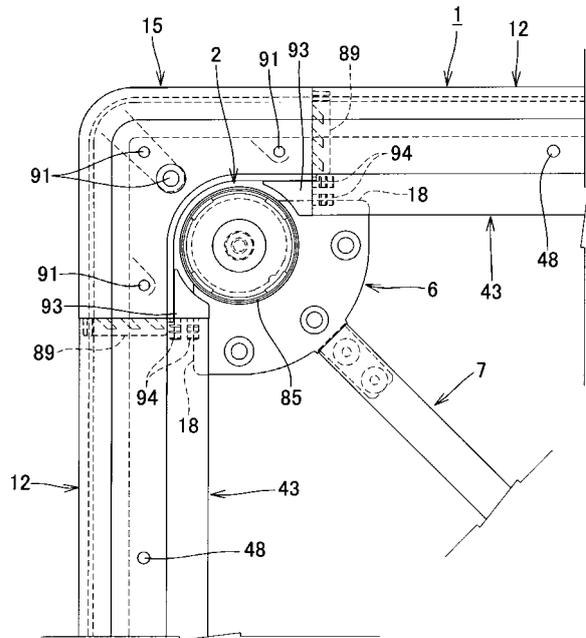
【 図 1 6 】



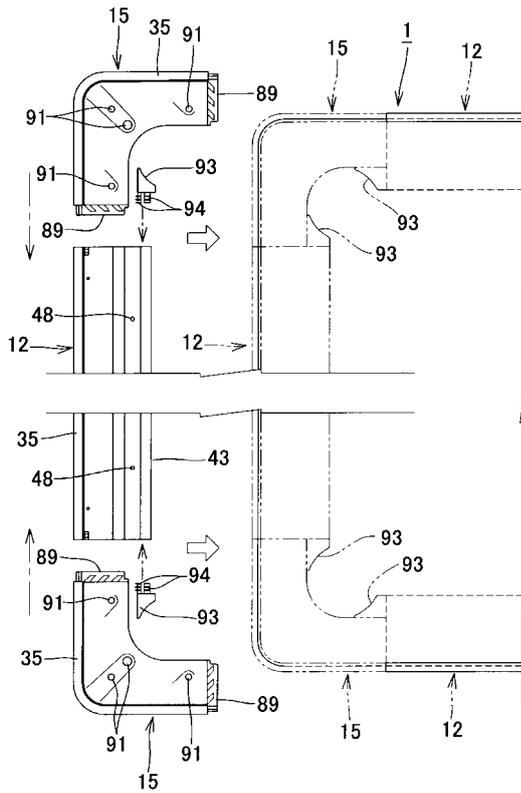
【 図 1 7 】



【 図 1 8 】



【図 19】



【図 20】

